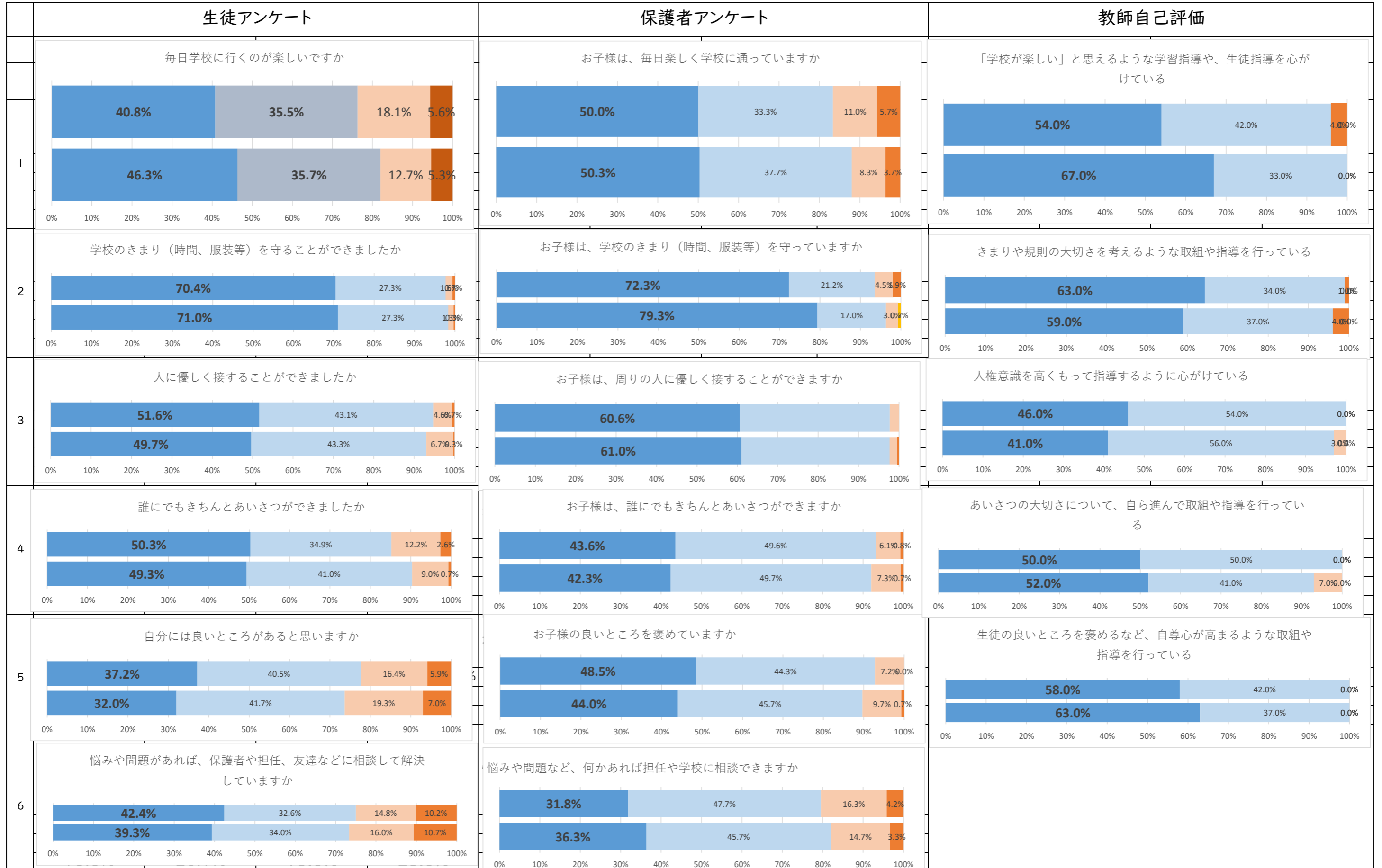
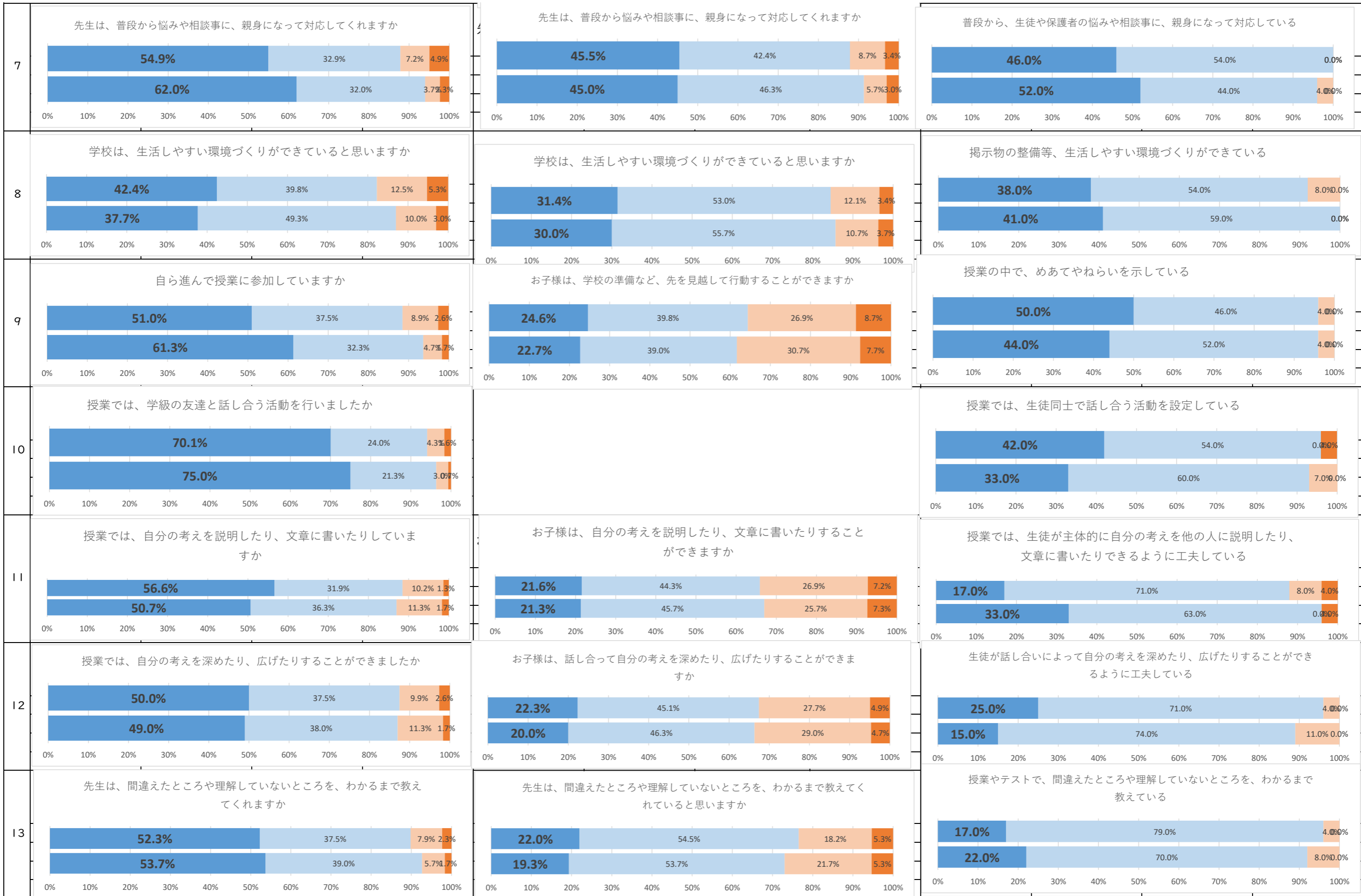


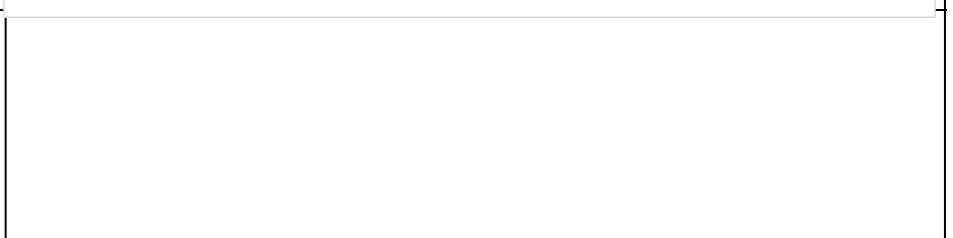
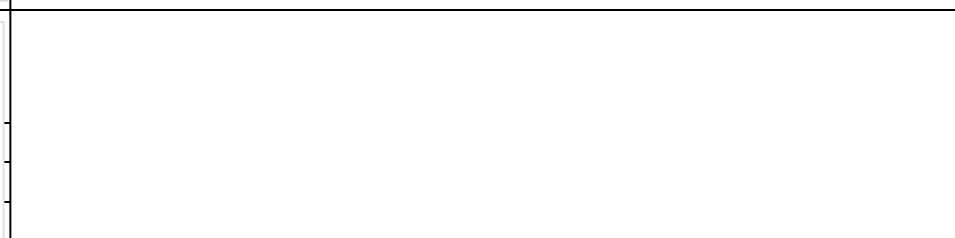
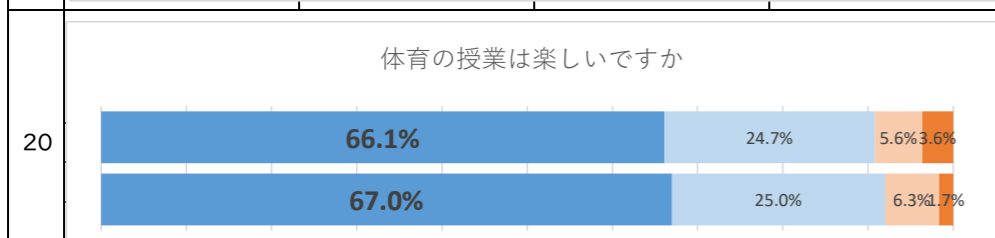
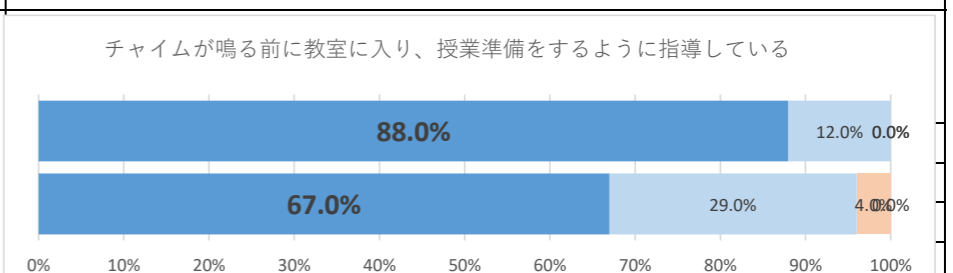
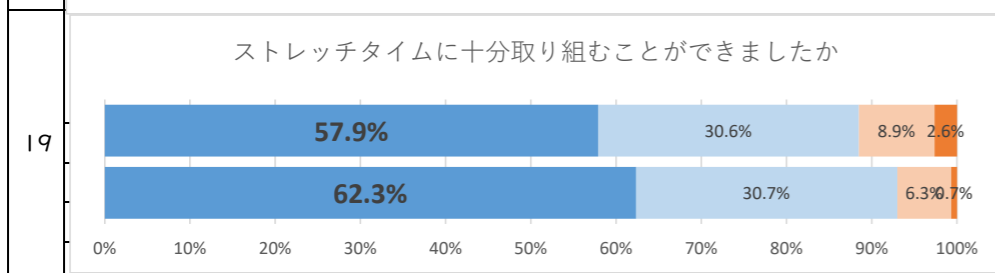
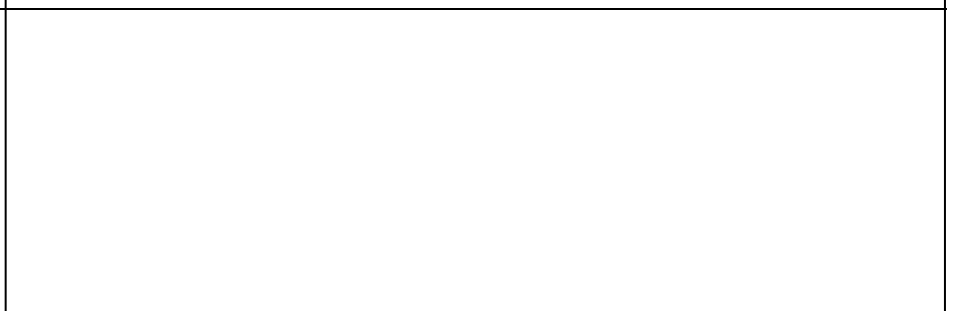
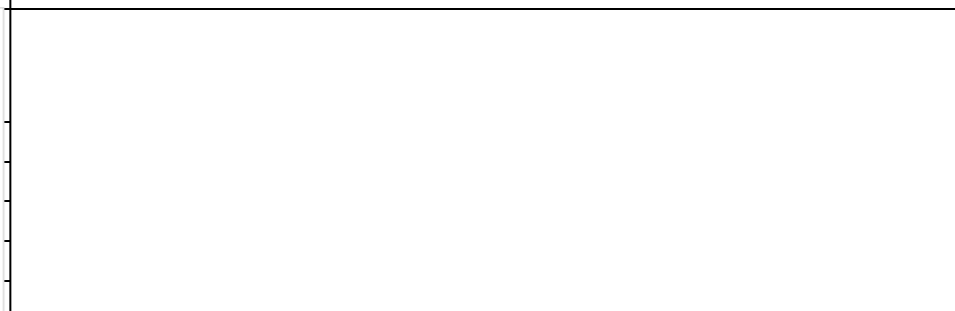
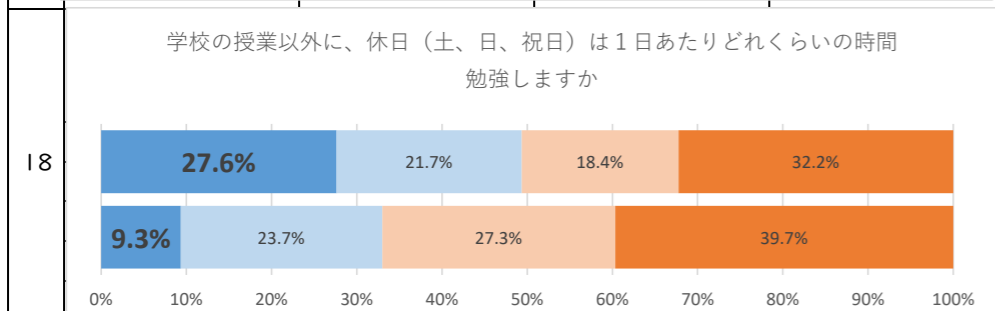
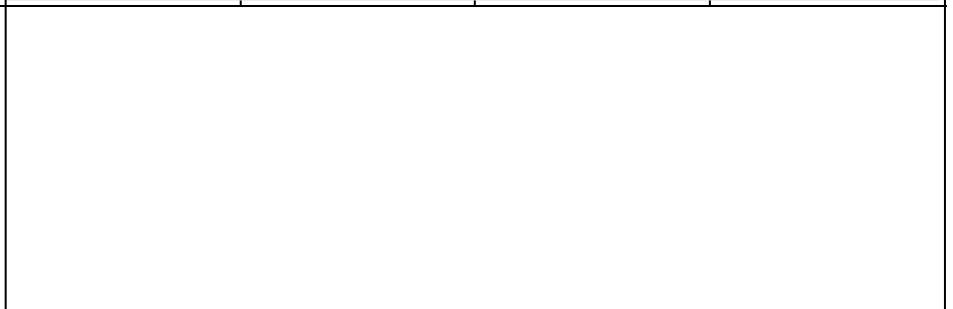
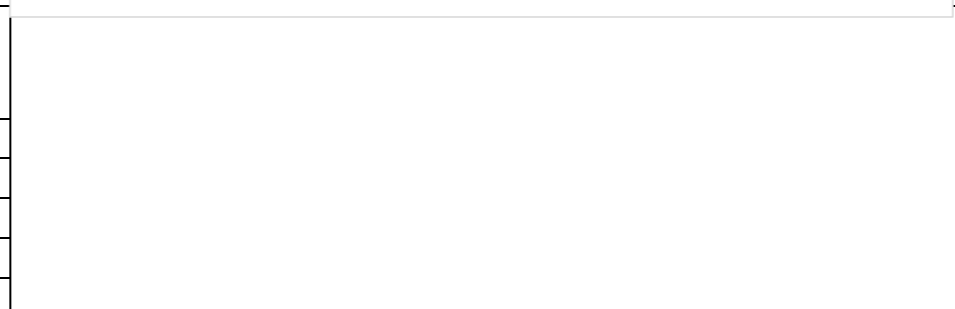
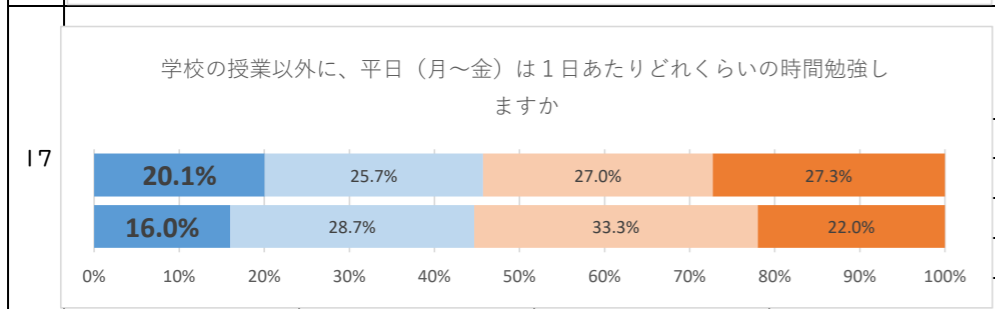
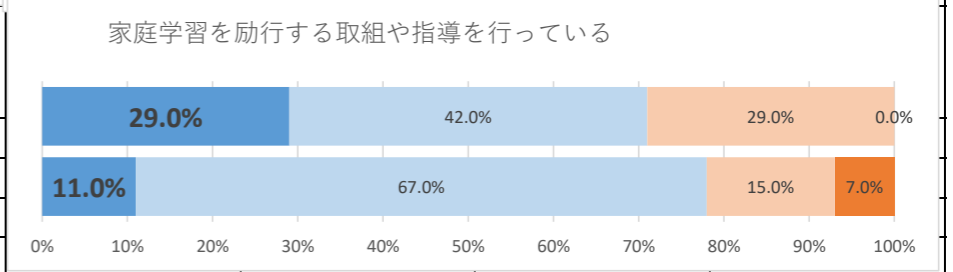
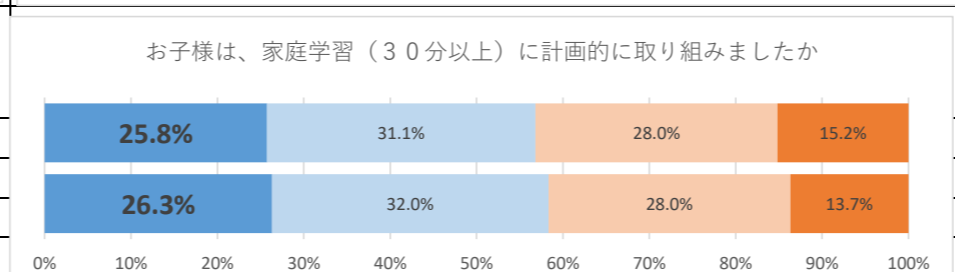
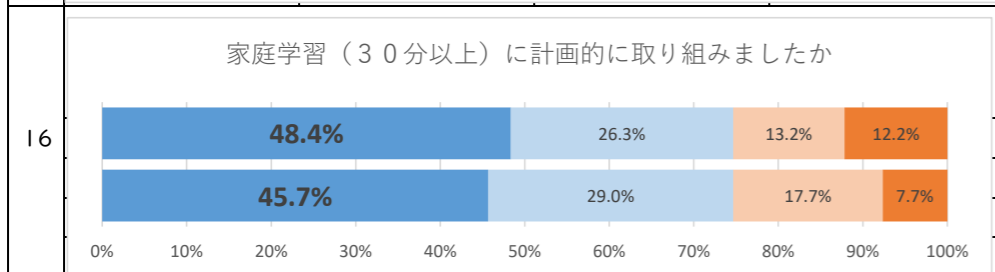
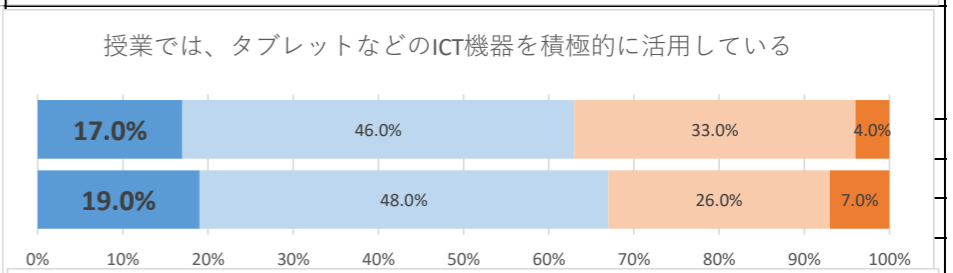
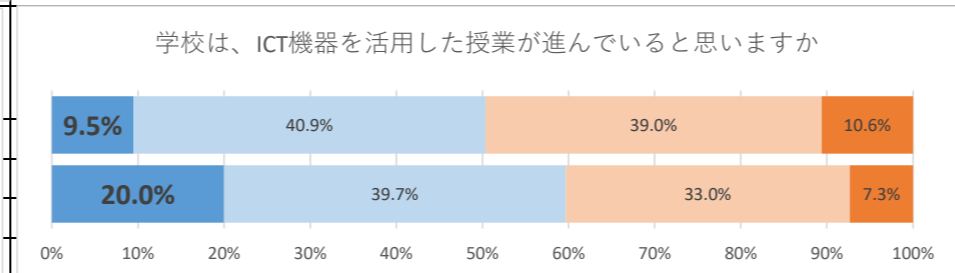
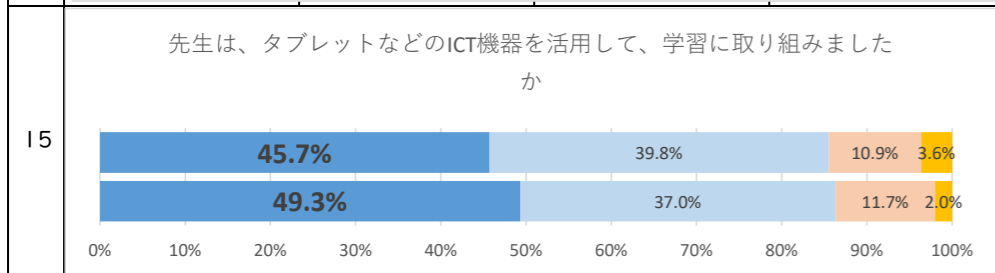
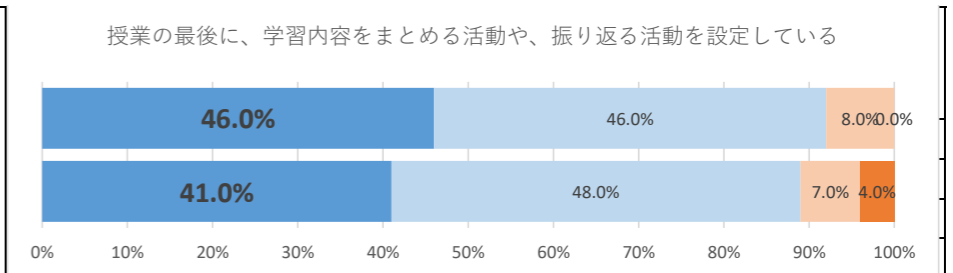
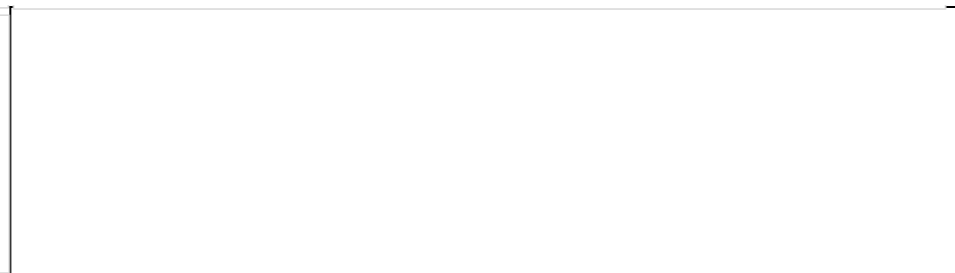
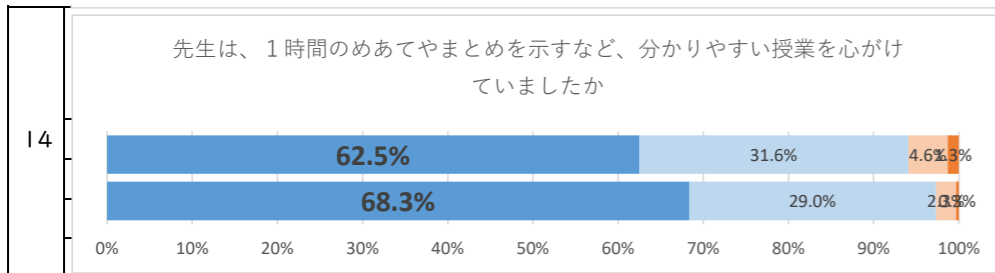
令和5年度 学校評価アンケートまとめ

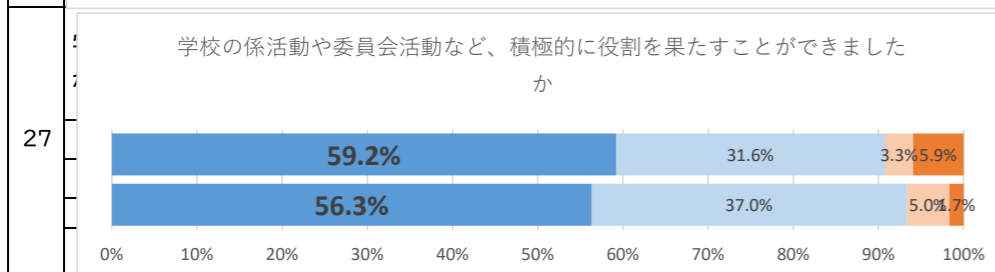
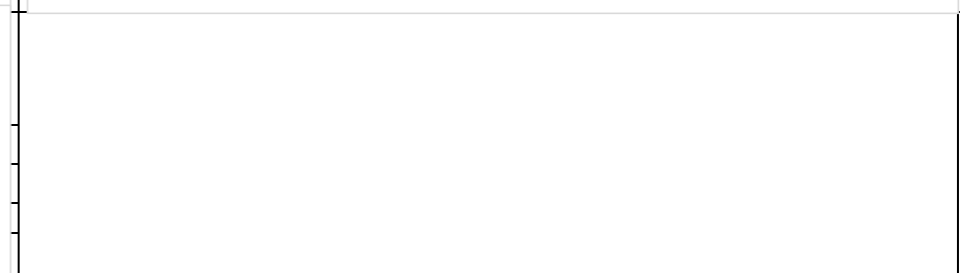
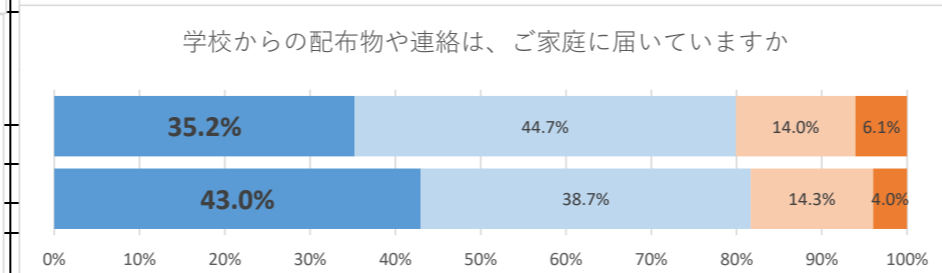
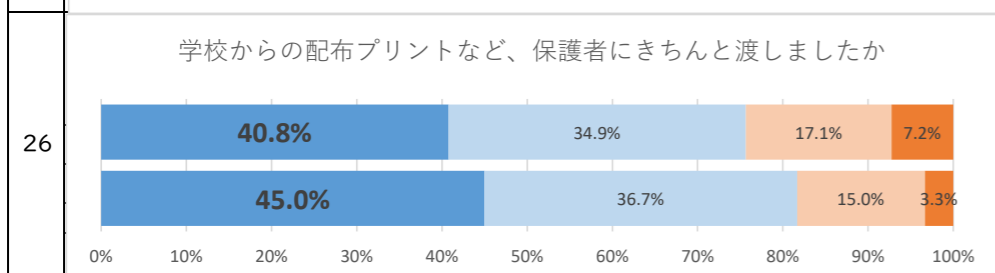
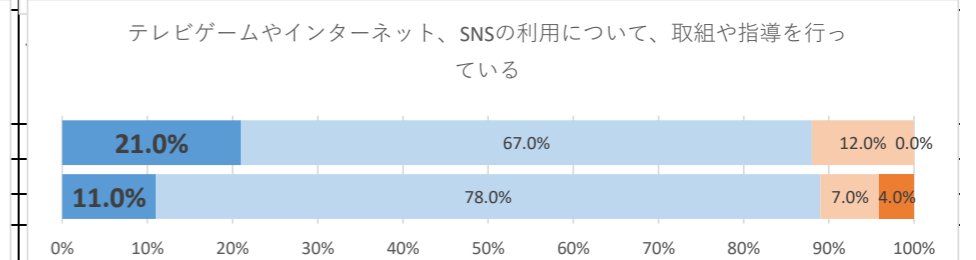
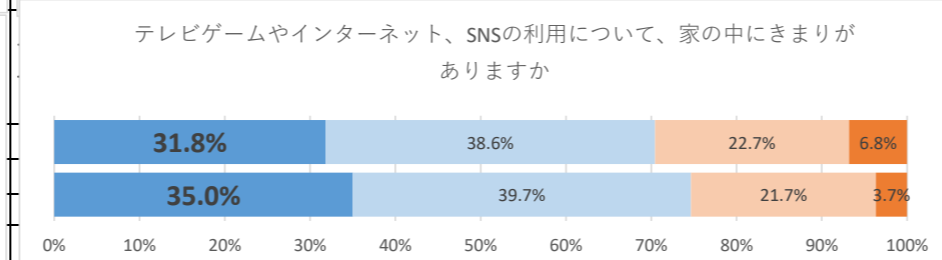
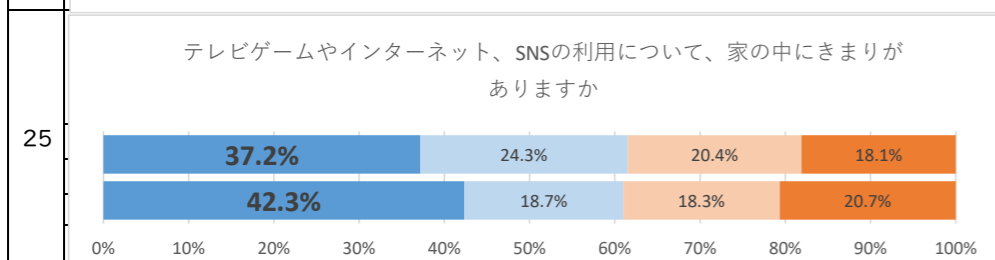
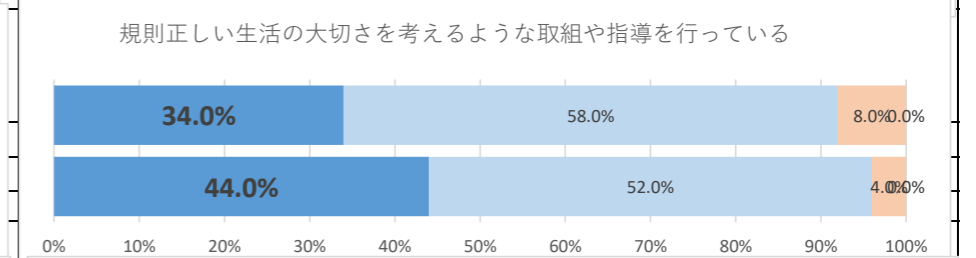
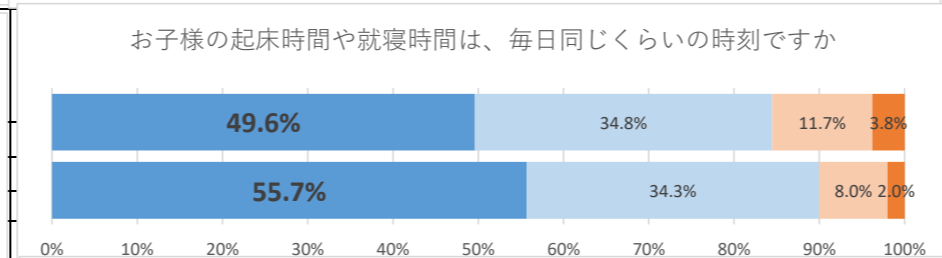
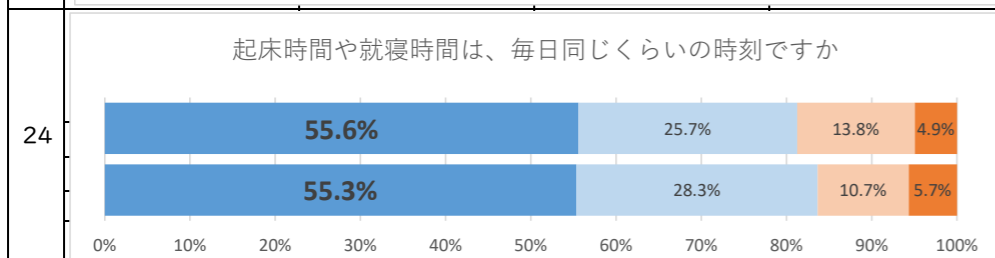
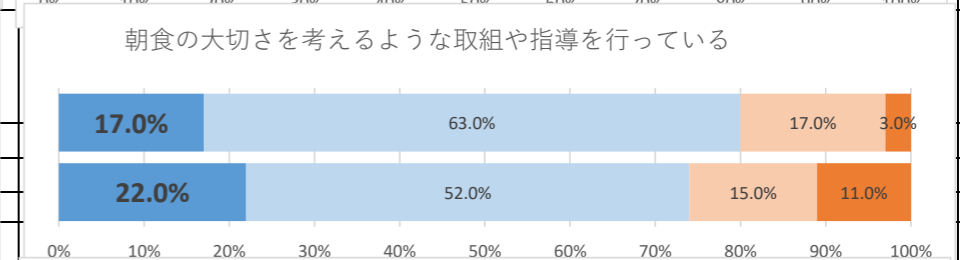
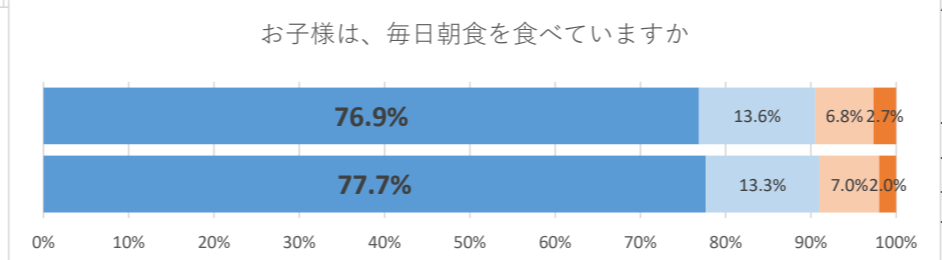
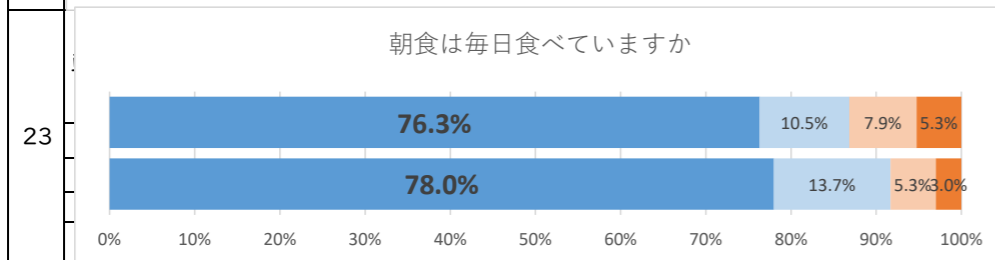
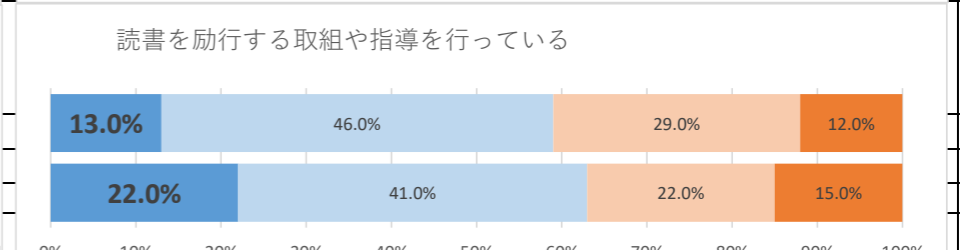
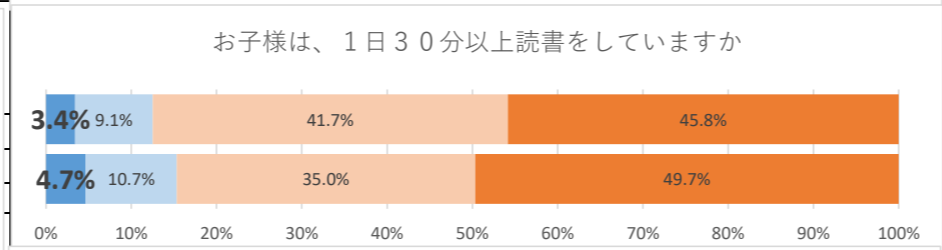
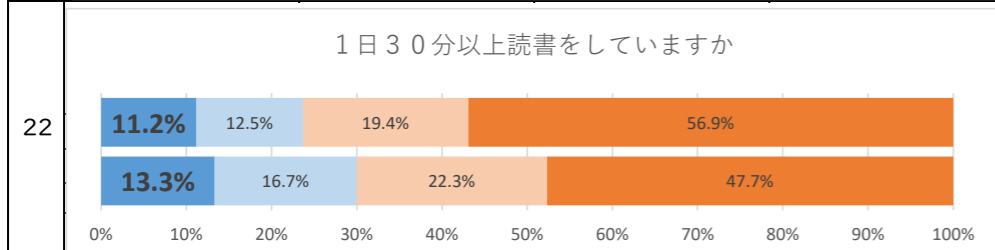
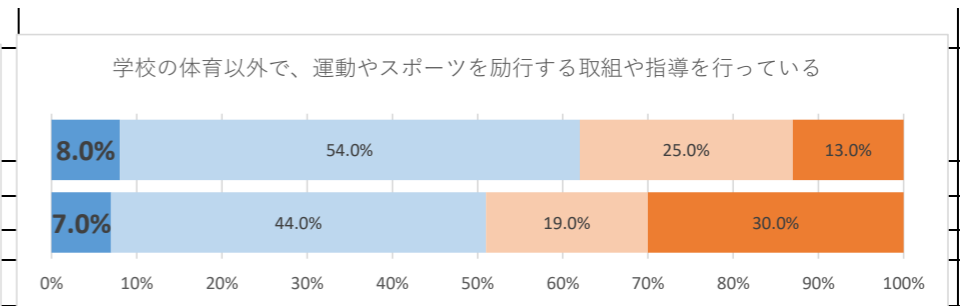
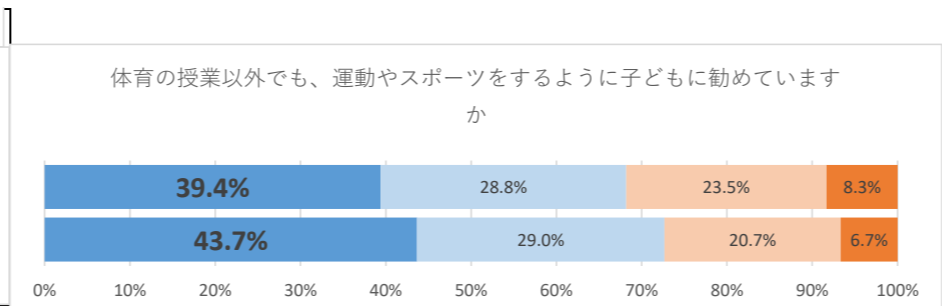
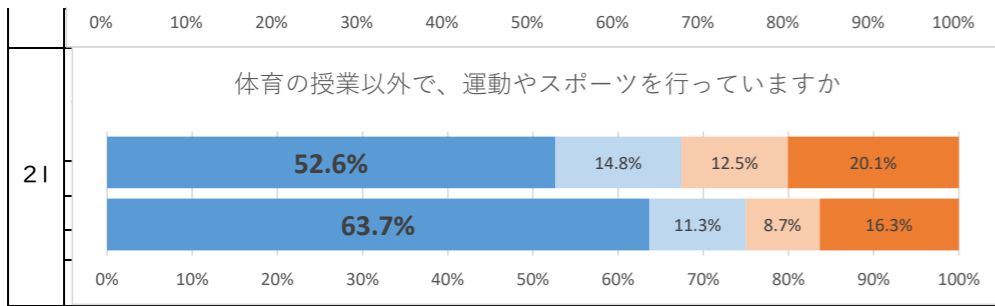
肯定的回答

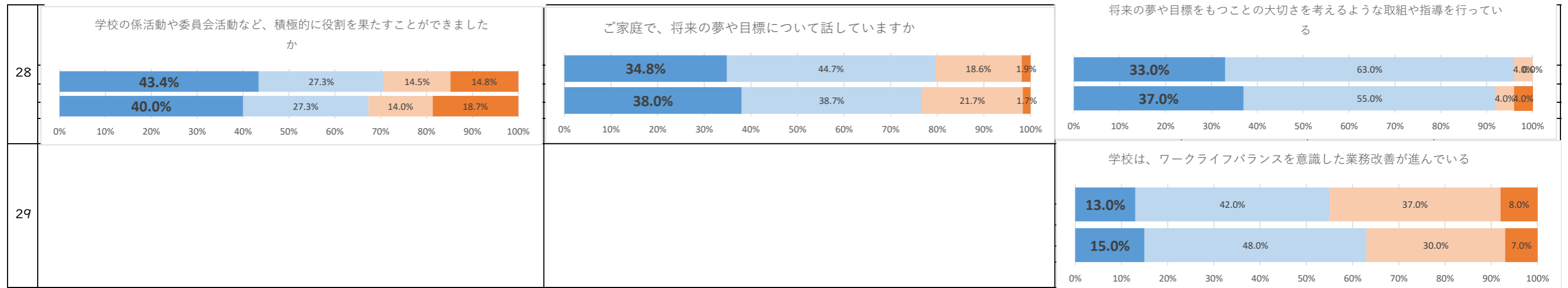
否定的回答











【考察】

◎成果

- ◎ほとんどの項目において、肯定的な回答が8~9割と、安心して落ち着いた学校生活が送れていると読み取ることができる。
- ◎人にやさしくできる、挨拶ができる、学校の決まりを守るの項目で、生徒、保護者ともに9割近い回答をしており、教師の指導100%という結果からも、成果が表れていると考えられる。
- ◎自己肯定感の項目では、生徒が77%、保護者が92%と高い回答で、人権教育の成果であると考えられる。
- ◎授業では、話し合う活動を行ったり(94%)、自分の考えを表現したり深めることができる(88%)ようになってきており、主体的・対話的で深い学びの実践の成果であると考えられる。
- ◎ICTを活用した授業は、生徒85%が肯定的な回答をしており、授業改善、指導工夫の成果と考えられる。

●課題

- 前期での肯定的な回答が高いため、後期では下降した項目が多いが、10ポイント以上下降している項目に関しては、真摯に受け止め、改善を図るよう取り組む必要がある。特に、楽しく学校に通っている、先生に相談できる項目は7~8割が肯定的ではあるが、下降しているところで原因を考えていきたい。
- ICT活用に関しては、生徒は85%が活用していると感じているが、保護者は50%と大きな開きがある。活用していることを情報発信し、周知していく取組が必要である。
- 読書については、1日30分以上読書をする肯定的な回答が生徒23%、保護者12%と大きな課題である。
- 家庭学習については、平日、休日ともに1時間未満の回答が4~5割で、じっくり家庭学習する習慣に課題がある。
- 業務改善が進んでいると実感できている教員が55%と半分である。様々な意見を聞き、業務改善が実感できる取組を推進していく。